

流山子育てネット 通信

発行：流山子育てネット

制作協力：NPO法人Rise up女性サポート実行委員会

活動報告

流山子育てネットは子育て支援者が「チーム流山」として繋がりながら子どもを取り巻く問題の勉強会等を行っています

子どもの人権条約の採択から30周年を迎えるという節目の2019年、流山子育てネットでも特に子どもの人権をテーマに活動しました。

もっと知りたい

流山の子育て

セントラルパークフェスタに出展し、ワークショップやアンケート、子育て講座、子育て資料配布等を行いました。

2019
6.2

子ども家庭課共催ワークショップ



中学生と考える人権
自分らしくあること

2019
8.17

～男女平等の視点から～

中学生以上を対象とし、男女平等を考える上で様々な発見をディスカッションしました。



子どもの権利条約

勉強会

2019
11.30



ユニセフの子どもの権利条約カードブックを使いながら、世界の子ども達にどのように育ってほしいのかを考えました。

市長訪問

2019
11.1

流山市長へ、セントラルパークフェスタで調査したアンケート結果をご報告・意見交換を行いました。



CAP大人
ワークショップ

2020
1.18



子どもが持つ権利をまずは大人が理解し、子どもを孤立させず援助するため何ができるかを考えました。



子育て支援センター
&児童館に関する
アンケート調査

流山子育てネット 会員連絡会@ZOOM

ここからの5年を考える

～コロナ禍における活動の
課題整理・届く情報発信～

2020年、突如始まったコロナ禍で初めて子育てする親は、情報不足や繋がりが持たにくい状況。一方で子育て支援者は、工夫しながら支援を行い繋がりを諦めず活動していますが、親のニーズとのギャップはないのか、どうすれば情報は行き届き誰一人取り残されないのか。ゲストスピーカーをお迎えして、コロナ前後の親や子の変化や支援方法の工夫をお伺いし、今必要なことを参加者全員で考えます。

2021年

3月13日(土) 14時～16時

定員：20名(先着順)

参加費無料

◇ ゲストスピーカー

小林助産院
助産師：小林由美子さん

南流山子ども食堂の会
代表：金川聡美さん

NPO法人CASE Japan
理事長：吉田明子さん

◇ お申込みフォーム



zoomのアクセス方法等はお申込みいただいた後にお知らせいたします。

子育てネット5周年によせて



淑徳大学教授 / 流山市子ども・子育て会議会長
流山子育てネット顧問
柏女 霊峰さん

流山子育てネットは、2015年、流山市子ども・子育て会議メンバーが母体となって、子育て支援者同士の連携と相互交流を図るために創設されました。おりしも、政府においても、同年、社会連帯を基軸とする子ども・子育て支援制度が創設され、これからの社会福祉の方向性として地域共生社会づくりが提案されています。

高齢者分野においてはすでに地域包括ケアが機能し始めていますが、子育て分野はこれからです。手弁当で進める流山子育てネットの活動はささやかですが、こうした地道な活動が、それらの素地になるのだと信じます。全国でも、こうした活動は広がりを見せています。流山子育てネットが、令和期の子育て支援に必要とされる「地域包括的で切れ目のない支援」実現の触媒となることを願っています。



学校法人岡本学園
岡本 哲哉さん

子育てネット5周年おめでとうございます。

子育てほど壮大な事業はないと言います。幼稚園を経営するもとして、その事業の一端に関われることに幸せを感じております。

幼稚園は子どもが初めて通う学校です。子ども達は遊びを通して多くのことを学びます。人と人がどう関わればいいのか。教室には約30人の子どもと教師が生活し、そこには小さな社会が存在しています。この社会を存続していくことが私たちの使命です。そこに子育てネットに参加することでさらに大きな社会へと発展していくと確信しています。子ども達の最善の利益のためにこれからも皆で繋がっていきましょう。



NPO法人green
小川 恭子さん

子育てネットに参加して5年。たくさんの子育て関係の方と知り合うことができました。学童クラブは、学校や家庭以外の時間を過ごすところです。

学校であったことを引きずって帰ってくる子どものケアをしたり、学校の先生と子どものことを共有しその子の状態を支えたり、親に集団の中での子どもの様子を伝えることも必要です。その環境の中で、子育てネットで出会った専門性を持った方のアドバイスは心強いものでした。これからも「子ども」というキーワードの中で、専門性を持った子育てネットであってほしいと思います。



特定非営利活動法人ながれやま子育てコミュニティ なこっこ代表理事
流山子育てネット会長
田中 由実さん

流山子育てネットが発足し、5年が経ちました。2013年に流山市子ども・子育て会議が設置され、「子どもをみんなで育てる計画～流山市子ども・子育て総合支援計画」の策定に参画し、計画は2015年から施行されています。

当時の委員の皆さんとこの計画をしっかりと見守り、自分たちも責任を担っていく。そんな思いが重なり「流山子育てネット」の設立が実現しました。これまでの5年間は、会員内外の皆さんと顔見知りになり、それぞれの活動を理解し、また共に学ぶことを意識してまいりました。

子どもの虐待・発達障害・人権・貧困問題など 解決しなければならないことはまだまだたくさんある中、コロナ禍で一層問題は深まりました。また、一見何の問題もないように思える家庭でも、つながりが持てず、引きこもって孤独に子育てしている人もとても多いと感じています。今後は、流山子育てネットに子育て課題を収集していく機能、そして相談する場所があることを発信していくことにも注力したいと思っています。



かやの木保育園 園長
櫻庭 康子さん

流山子育てネット5周年おめでとうございます。

この5年間で流山市内の保育園は大幅に数を増やし、子ども達の成長発達を見守り、仕事と子育ての両立や家庭での子育てに専念されている大勢の親子を支えています。

子ども達が健やかに育つために必要なものは安全で豊かな環境とともに様々な人とのつながりです。子どもの成長の過程で悩んだとき、「あそこへ」「あの方へ」相談してみようと思えるつながりがもてる子育てネットの存在を心強く思っています。



CAPなのはな 代表
小貫 松江さん

私は、東葛地域を中心にCAP（キャップ：Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止）活動をしています。CAPは、子どもたちを取り巻く、いじめ・誘拐・性暴力・虐待・自死といったさまざまな暴力から、子ども自身が自分の大切な心と身体を守る、暴力の予防教育です。子どもの視点に立ち、楽しく学べるので、実施後の感想は「安心した。楽しかった。」がほとんどです。おとなの感想は「自分が子どもの頃にCAPを受けたかった」という感想があります。子どもの悲しいニュースが続いている今、不安を勇気に変えるCAPを地域の子ども、おとなに伝えたいと思っています。



株式会社マザープラネット
藪本 敦弘さん

流山子育てネット5周年おめでとうございます。

人間関係が希薄になりがちな昨今、子育て支援に携わる人や団体などが顔の見える関係で繋がることの必要性がこれからの時代は益々増えてくると感じています。

今後、流山子育てネットのような、子育てに関わる人同士の顔が見えるネットワークをもとに、流山市が子どもを中心に地域全体で子育て支援を支えられる地域になればと願っています。



NPO法人CASE Japan
吉田 明子さん

「流山子育てネット」5周年をお祝い申し上げます。

NPO法人CASE Japanは発達障害を持つ本人や家族の支援と関わる機関との連携を主に平成15年より活動中。

5年前「流山子育てネット」初回シンポジウムに参加したご縁から様々なつながりが生まれ、流山市内での「発達に困難を抱える親子の支援」が飛躍的に進んだと実感しています。

今後も、個々では時間がかかり大変な事業が、協力と連携から速くかたちになるよう益々の発展を願っております。



NPO法人パートナーシップながれや代表理事
山口 文代さん

子育て中の市民が多く住んでいる流山市に子育てネットワークがあることは心強い限りです。ますますの充実した活動を応援しています。世界経済フォーラムが毎年公表している男女格差の日本のランキングは153ヶ国中121位です。最近では「男の子らしく、女の子らしく」という育て方をしている家庭は少なくなったように思います。また、子どもと一緒に外出するパパの姿も普通に見られるようになりました。日本の未来を担う子ども達が、性差にとらわれず自分らしい生き方ができるよう応援して行きましょう。



学習塾アトラス千葉塾・主任児童委員
矢口 輝美さん

私は7年前に、もう一人のお母さんとして子供達を見守りたいという想いで、学習塾を立ち上げました。また主任児童委員として地域の活動に参加しております。It takes a village to raise a child. 「ひとりの子供を育てるには村中みんなの力が必要だ」という諺があります。一人ひとりが自分の可能性を見出し、どんな夢でも絶対に叶うと信じて大きくなって欲しい。そのためには彼らを見守る地域の温かい眼差しが必要です。地域一丸となって次世代を担う子供達を育てていく環境を作り上げるべく、今後も尽力して参ります。

流山子育てネット 5年間の歩み

2015

6.21 「子どもをみんなで育む計画」シンポジウム

新しい子ども・子育て新制度の説明、子育て制度についてディスカッションを行う。

9.13 第一回会議

2016

2.14 第二回会議

7.31 地域で支える子どもの発達障害

障害の有無に関わらず、地域が担う役割とは何か。基調講演・パネルディスカッションと共に、そのヒントを探る。

11.27 たたかない子育て

子育て当事者・支援者に向けて、子どもの目線で見つけと虐待の違いを考察。

2017

7.30 これからの子ども・子育て支援を考える代表者会議

児童福祉法改正について講義、そして妊婦・乳幼児期～小学生までの関係者10名に登壇いただき、各業界の課題や連携の可能性を模索。

2018

1.14 子育て支援連携新年会

7.31 第一回 子育て支援の現場から「実は身近な発達障がい」

発達の遅れや医療ケアが必要な子どもに関する知識・意識・課題を共有し、親子支援の問題を紐解く。

7.31 第二回 子育て支援の現場から「子どもへの虐待」

子どもの虐待を防止・早期介入するために、私たちができることを考える。

2019

6.12 もっと知りたい 流山の子育て

セントラルパークフェスタに出展。子育て支援センター&児童館に関するアンケートや、助産師による子育て講座、子ども家庭課共催ワークショップなど行う。

8.17 中学生と考える人権・自分らしくあること

中学生以上を対象とした人権イベント。男女平等とは何か、一人ひとりの大切さを学ぶ。

11.1 市長訪問

11.30 「子どもの権利条約」勉強会

流山子育てネット顧問・柏女先生より、子どもの権利を学びながら地域の良質な活動のニーズを感じる。

2020

1.18 CAP大人ワークショップ

3つの権利「安心」「自信」「自由」のキーワードを具体的な事例を基にロールプレイで学ぶ。

流山子育てネットは以下の図のように、具体的な推進基盤を形成するためのプラットフォームの立ち上げや、推進手順を参考にして運営しています。現状は、ステップ3～4の間を推移しています。

プラットフォームの展開・運営の進め方

立ち上げ時期	ステップ1 立ち上げ	○キーパーソンを見出し、地域の子育て支援団体がゆるやかにつながる、顔の見える関係を構築する。 ○情報交換・課題の持ち寄り・共有・現状把握を行う。
	ステップ2 ミーティング	○立ち上げに際して、当初のコアメンバーを招集し、目的や位置づけ、役割等を確認する。
軌道に乗った時期	ステップ3 ミーティング	○定期的なミーティングを開催する。情報やそれぞれの組織・団体に解決できない課題等を持ち寄り、ケース検討し、対応を協議する。
	ステップ4 活動と連携	○課題解決のための活動を展開する。 ○プラットフォームのコアメンバーに加え、課題対応や支援の展開のために、地域の関係団体・機関と連携・協働する。
	ステップ5 発信	○課題を抱える子育て世帯に対し、しっかりと相談できる場があることを伝える。 ○課題を抱える子育て家庭等の情報がプラットフォームに集まってくる状況を作りあげる。
	PDCA 立ち上げ	○活動が展開されたあと、その活動についてPDCAを行う。 ○プラットフォーム自体も、PDCAの視点から、活動を円滑かつ効果的に進めることができたのか、役割・機能を評価し必要に応じて改善し、次の取り組みにつなげる。

全国社協のHPから
文献内容をご覧ください



流山子育てネット
も登場しています

社会福祉法人 全国社会福祉協議会「子どもの育ちを支えるプラットフォームの継続、発展に向けて」2019、p32

流山子育てネット

事務局

会長 田中 由実
(特定非営利活動法人
ながれやま子育てコミュニティ なこっこ)

副会長 小川 恭子
(NPO法人 green)

会計 吉川 喜代美
(NPO法人 流山おやこ劇場)

監査 高橋 利恵子
(NPO法人 Rise up
女性サポート実行委員会)

顧問

柏木 霊峰 (淑徳大学教授)

運営委員

岡本 哲哉 (平和台幼稚園)
小貫 松江 (CAPなのはな)
櫻庭 康子 (かやの木保育園)
白澤 美幸 (株式会社Colabo-ya)
藪本 敦弘 (株式会社マザープラネット)

2020年度会員～2021年度会員予定

青木 八重子 (特定非営利活動法人 ながれやま
子育てコミュニティ なこっこ)
天農 容子 (NPO法人流山おやこ劇場)
大塚 洋一 (流山市市議会議員)
岡安 江津子 (かやの木保育園)
小澤 孝江 (NPO法人流山おやこ劇場)
笠原 久恵 (流山市市議会議員)
加藤 啓子 (流山市市議会議員)
冠木 久仁子 (NPO法人地域学校精神保健福祉
ネットワーク)

野村 誠 (流山市市議会議員)
畑江 道正 (NPO法人ながれやま芽)
藤井 俊行 (流山市市議会議員)
古宿 霞 (流山市ファミリー・サポート・センター、
東部地域リーダー)
村上 涼 (江戸川大学子どもコミュニケーション
学科)
森田 洋一 (流山市市議会議員)
矢口 輝美 (学習塾アトラス千葉塾)
山口 文代 (NPO法人パートナーシップながれやま)
山本 正子 (おおたかの森助産院)
吉田 明子 (NPO法人 CASE Japan)

五十音順

《団体・5口以上》
流山市学童クラブ指定管理者連絡協議会
流山市小規模保育連絡協議会

《敬称略》